

二子玉川ライズ スタジオ & ホール 設営・設備マニュアル

2024 年 11 月版

● 防火・防災対策

1. 消防署への届け出フロー	_____	P. 1
2. 避難誘導灯	_____	P. 3
3. 防災対象物品	_____	P. 3
4. 炎感知器	_____	P. 4
5. スプリンクラー	_____	P. 5

● レイアウト作成時の注意

6. 避難動線	_____	P. 5
7. ステージ	_____	P. 7
8. 客席	_____	P. 7
9. 各壁面名称	_____	P. 8
10. スクリーン位置	_____	P. 8
11. その他	_____	P. 10

● 各設備詳細

12. ガラス扉	_____	P. 11
13. スライディングウォール（可動間仕切り）	_____	P. 13
14. バトン	_____	P. 14
15. 清掃用流し（SK）	_____	P. 17
16. パントリー、壁面シンク	_____	P. 18
17. ホール内での調理時における仮設工事	_____	P. 19
18. インターネット回線	_____	P. 21

● その他

20. ワイヤレスマイク持ち込み時の注意	_____	P. 22
----------------------	-------	-------

1. 消防署への届け出フロー

【STEP 1】
イベント計画

● イベント計画

下記に留意し、イベント計画および図面作成を行ってください。

- 動員計画：最大収容人数（340 名 ※スタッフ含む）の確認
- 避難通路：避難通路の幅員 1,400 mmの確保（P.5 参照）
- 避難口誘導灯：視認障害有無の確認 ※視認障害がある場合は仮設誘導灯を設置（P.3 参照）
- スプリンクラー：散水障害有無の確認（P.5 参照）

● 消防申請担当者の選任

【STEP 2】
ホールへ確認

● ホールへ確認

作成した図面は、ホールスタッフの確認を取ってください。

演出上、禁止行為（裸火・喫煙・危険物の持ち込み）や特殊効果（キャノン、クラッカーなど）の使用を希望する場合は、消防署および二子玉川ライズ施設管理者の承認を得るため、諸条件を満たす必要があります。演出計画を必ず事前にご相談ください。

ホールからの指摘事項は、必ず反映してください。

【STEP 3】
消防署への
相談

● 消防署への相談

イベント概要、スケジュール、ホール確認済会場図面を持参し、玉川消防署予防係へ事前相談をし、以下をご確認ください。

- 予防係窓口の担当者名
- 図面上の問題点
- 必要申請書類の有無（イベント内容により提出する書類は異なります）

■ 会場管理計画書

ホールへの必須提出書類

■ 防火対象物一時使用届出書

■ 防火対象物使用届出書

■ 防火対象物工事等計画届書

} ホール防火対象物の用途変更を伴うイベントの場合

■ 観覧場又は展示場における催物開催届出書

ホールにて興行等の催物を開催する場合

■ 基準の特例等適用申請書

ホールの設定基準（避難幅員、座席幅）と異なる場合

■ 禁止行為解除申請書

演出上、禁止行為（裸火・喫煙・危険物の持ち込み）のある場合

■ 禁止行為解除申請内容明細書

禁止行為の詳細を明確にしなければならない場合

【STEP 4】

ホールへ 内容共有

- ホールへ内容共有

消防署の指摘事項をホール担当者へ共有の上、該当箇所を修正してください。
申請書類の提出を求められた場合は、ホールスタッフへお知らせください。
指定のフォーマットをお渡しします。

【STEP 5】

消防署へ 申請

- 消防署へ申請

イベント概要、スケジュール、ホール確認済会場図面、会場管理計画など、提出書類一式
を持参し、玉川消防署予防係、または査察係へ申請してください。
その際、以下をご確認ください。

○ 予防係窓口の担当者名

○ 消防査察の有無

『予防係』へ申請	『査察係』へ申請
■ 会場管理計画 ■ 禁止行為解除申請書 ■ 防火対象物一時使用届出書 ■ 禁止行為解除申請内容明細書 ■ 防火対象物工事等計画届書 ■ 防火対象物使用届出書 ■ 観覧場又は展示場における催物開催届出書 ■ 基準の特例等適用申請書	■ 禁止行為解除申請書 ■ 禁止行為解除申請内容明細書

【補足】 条例 56 条

4 日以内の使用：防火対象物一時開始届（一時的使用としての規則・規定が適用される）

5 日以上の使用：防火対象物使用届（恒常的使用としての規則・規定が適用される）

※ 届出種、規則・規定については、消防署に確認すること。

【STEP 6】

ホールへ報告

- ホールへ報告

消防署へ申請した内容は、ホールスタッフへご報告ください。申請書類を提出した場合は、
正本を消防署、副本の一部を利用者様にて保管、もう一部はホールへご提出ください。
消防査察が予定されている場合は、日程を共有してください。

2. 避難誘導灯

高さ 2,700 mm 以上のパネルやセットなどの造作の設置により、避難誘導灯の隠れる可能性がある場合は、事前に消防署へ相談し、必要に応じて仮設の避難誘導灯（内照式）を設置してください。

※ 使用が 4 日以内の場合は、「防火対象物一時開始届」を提出することで、中・高輝度蓄光式誘導標識（消防用設備等の認定商品に限る）にて代用できる場合があります。条件等は消防署にご確認ください。

【内照式避難誘導灯（例）】



3. 防災対象物品

カーペット、カーテン、布製装飾物および展示用ベニヤ板等、使用資材はすべて、不燃性、準不燃性、難燃性、防火性を有する素材を使用してください。

【防災対象物品とは】

昭和 44 年から消防法に位置付けられた「防災規制」では、燃えにくい性質を「防火性能」、消防法に定められた防火性能基準の条件を満たしたものを「防災物品」といいます。不特定多数の人が出入りする施設・建築物で使用されるカーテン、じゅうたんや、工事現場に掛けられている工事用シート、劇場等で使用される舞台幕等も、「防災物品」の使用を義務付けられています。

【防災対象物品】

(1) 消防法第 8 条の 3 第 1 項、法令第 4 条の 3 第 3 項の防災対象物品には、次のものが含まれるものであること。

- ① 仕切りに用いられる布製のアコーディオンドア、衝立て
- ② 室内装飾のために壁に沿って下げられている布製のもの
- ③ 布製ののれん、装飾幕、紅白幕等で、下げ丈がおおむね 1m 以上のもの
- ④ 映写用スクリーン（劇場、映画館等で使用されているもの）
- ⑤ 展示会場で用いられる合板で、台、バックスクリーン、仕切り用等に使用されるもの
- ⑥ 店舗部分で、商品の陳列棚としてではなく、天井から下げられた状態又はパネル等として使用される合板
- ⑦ 屋外の観覧席、通路等の部分に敷かれているじゅうたん等
- ⑧ 人工芝
- ⑨ 試着室に使用される目隠布
- ⑩ 昇降機（エレベーター）床・壁の内面保護等のための敷物等（2 m²を超えるもの）

(2) 次の床敷物等は、防災対象物品に含まれないものであること。

- ① 大きさが 2 m²以下のじゅうたん等
- ② 特例基準第 2 条、2 方向避難開放型住宅に住戸用自動火災報知設備を設置した共同住宅等に係る消防用設備等の技術上の基準の特例について（昭和 62 年 9 月 22 日予第 1116 号予防部長依命通達）別記 2、1 及び共同住宅等特例基準（第 253 号）別記第 4 に適合する共同住宅の住戸部分に使用されるじゅうたん等
- ③ 接着剤等で床に貼られ、床と一体になっている合成樹脂製床シート及びプラスチックタイル

- ④ 畳
- ⑤ じゅうたん等の下敷にクッション材として使用されているアンダーレイ、アンダークッション、アンダーフェルト等
- ⑥ 屋外の観覧席のグラウンド、フィールド等に敷かれているじゅうたん等
- ⑦ プラスチック製ブラインド、木製ブラインド
- ⑧ 外壁に沿って垂れ下がっている広告幕
- ⑨ 独立したさお等に掲げる旗

【防災表示と防災ラベル】

使用可能な防災物品は、日本防災協会（JFRA）が交付している防災ラベルを規則どおりに正しく表示する必要があります。防災ラベルには、カーテン、じゅうたん、パネル等の完成品に付けられる「物品ラベル」と、加工される直前のカーテン、じゅうたん、パネル等の材料（原反）に付けられる「材料ラベル」があります。

【防災ラベル（例）】

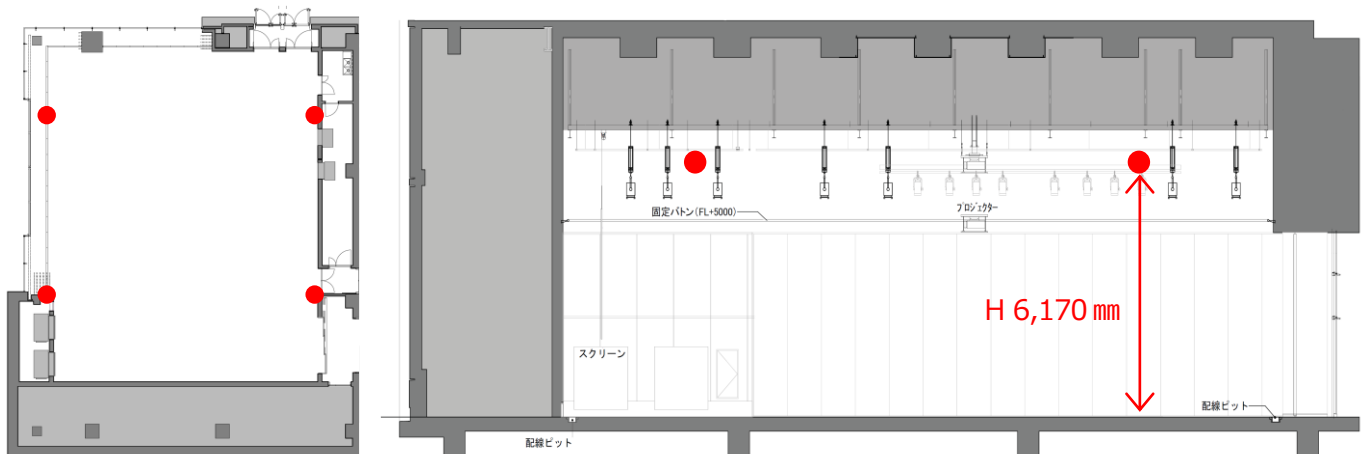


4. 炎感知器

ホール内には4箇所「炎感知器」が設置されています。

幕・タペストリー等をウォールバトン3、4（P.15 参照）へ吊る場合は、炎感知器に干渉しないようにしてください。

【炎感知器位置（平面図・断面図）】



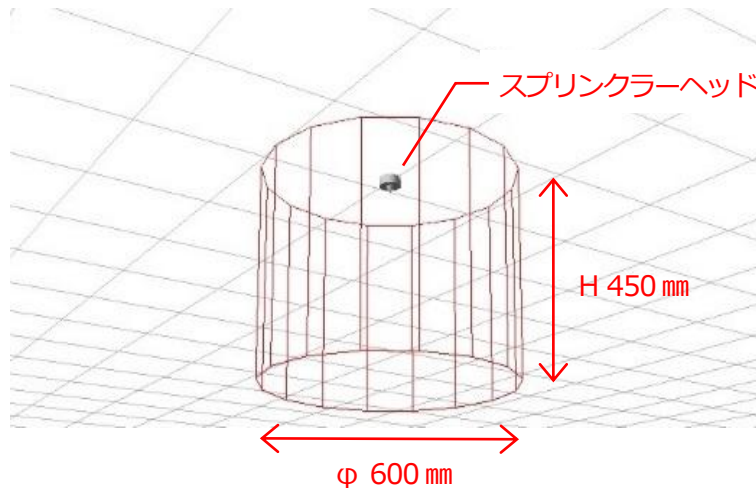
5. スプリンクラー

ホールは、法令によりスプリンクラーの設置義務のある防火対象物です。

造作物を設置する場合は、スプリンクラーや感知器に当たらないよう注意してください。

また、散水障害や感知障害を防ぐため、スプリンクラー・感知器直下は、直径 600 mm、高さ 450 mm のスペース（下図参照）を確保してください。

【散水および感知障害エリア】



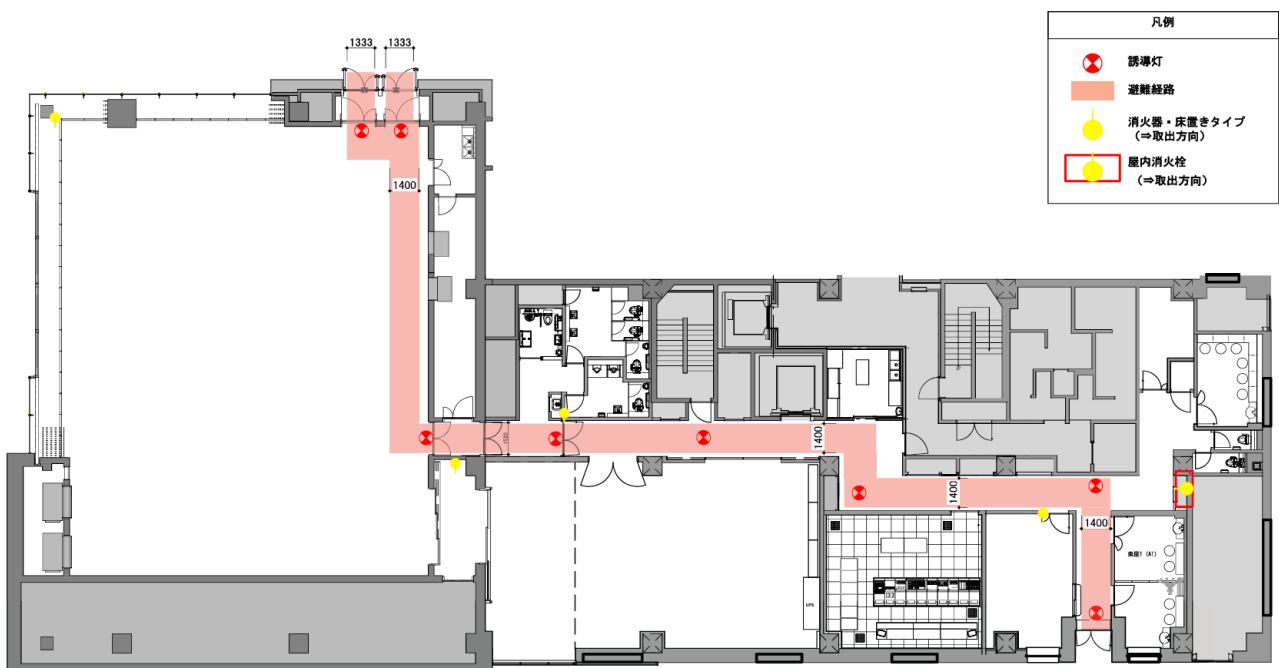
※ 開口率 70%以上の素材（パンチングメタル、ガラリ、メッシュ状の幕など）を用い、かつスプリンクラーヘッドから 0.6m 以上離れた位置に飾り天井等を造作する場合は、散水障害行為と見なされない可能性があります。事前に消防署へ確認してください。

レイアウト作成時の注意

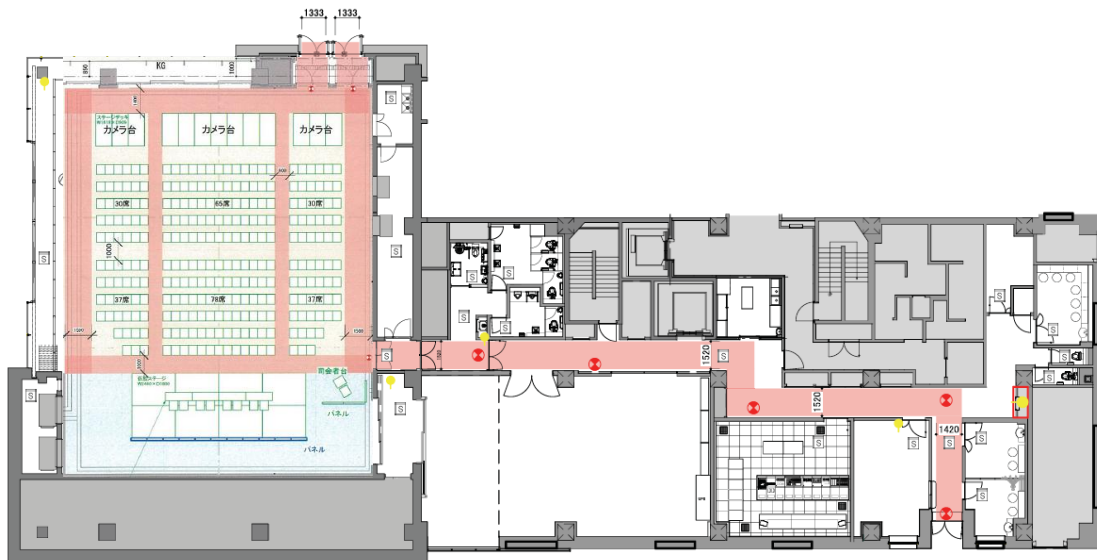
6. 避難導線

東京都火災予防条例により、以下の避難経路幅を確保してください。

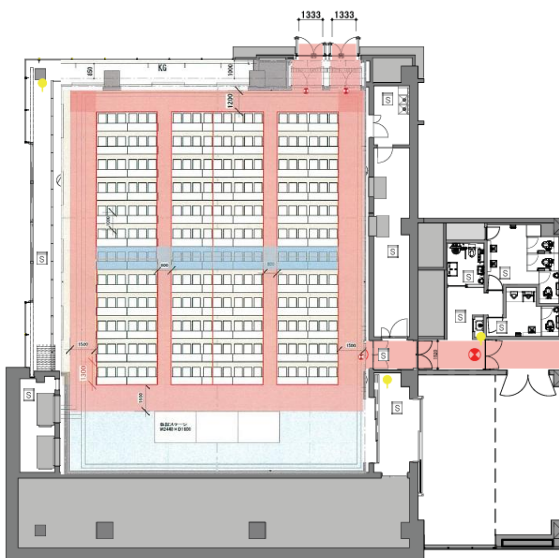
当ホールの避難経路の通路幅は、原則 1,400 mm以上です。消火栓、消火器、誘導標識等の消防設備および点検口が、展示物、装飾物等で隠れないようにしてください。



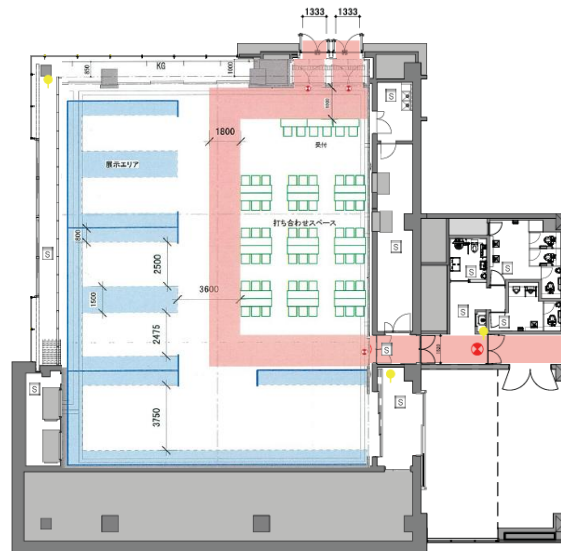
【避難動線例：シアター形式の場合】



【避難動線例：スクール形式の場合】

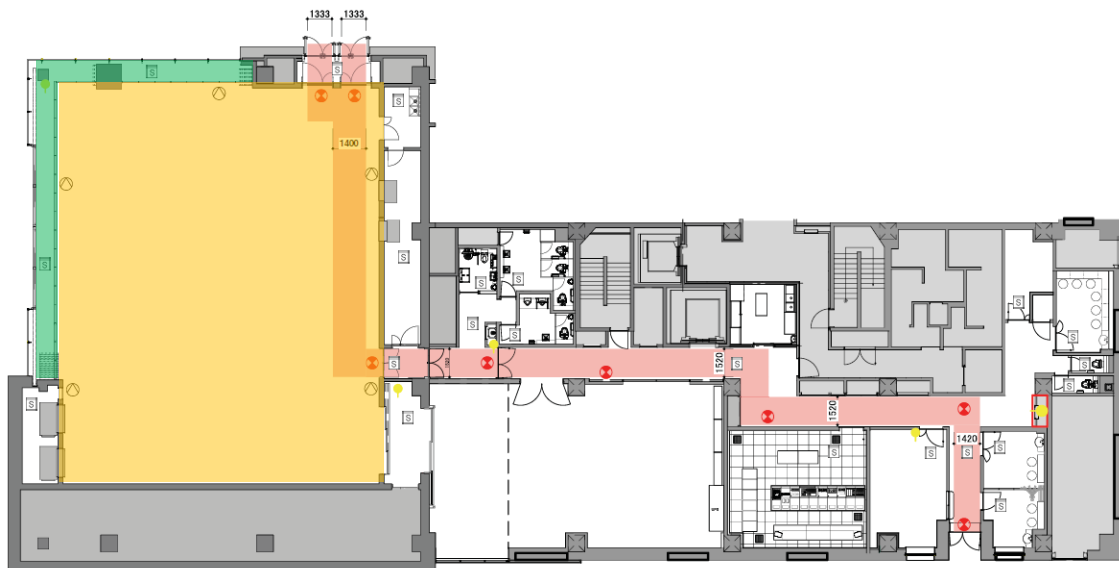


【避難動線例：展示会形式の場合】



当ホールは、法令により自動火災報知設備の設置義務のある防火対象物です。炎感知器および煙感知器が設置されています。

- ・炎感知器：ホール主要空間 を警戒
- ・煙感知器：主にガラス扉側のスライディングウォールを閉じた場合の附室区画 を警戒



7. ステージ

ホールのステージデッキのサイズは以下のとおりです。組み合わせたサイズにてご利用いただけます。

ステージ高は 200 mm、400 mm、600 mm、800 mmのいずれかとなります。

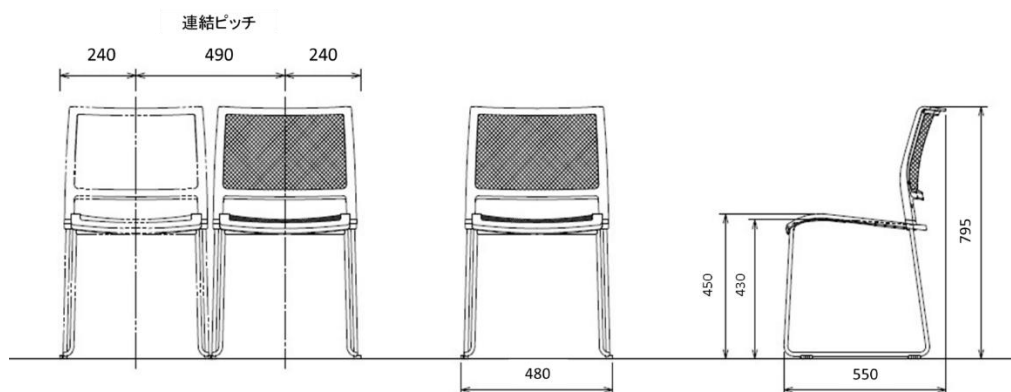


- ・幅 : 1,818 mm、909 mm
- ・奥行 : 909 mm
- ・高さ : 200 mm、400 mm、600 mm、800 mmに可変
- ・耐荷重 : 500 kg/m²
- ・天板 : ポリビニール (黒) 仕上げ
- ・数量 : 幅 1,818 mm 50 枚、幅 909 mm 4 枚

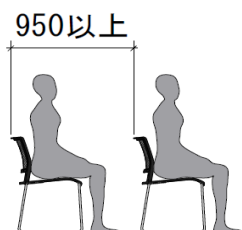
8. 客席

- ・ホールのスタッキングチェアをご利用の場合、連結ピッチを考慮し、イスのサイズは W 490 × D 550 にてプロットしてください。

※ 東京都火災予防条例により、イスは連結する必要があります。

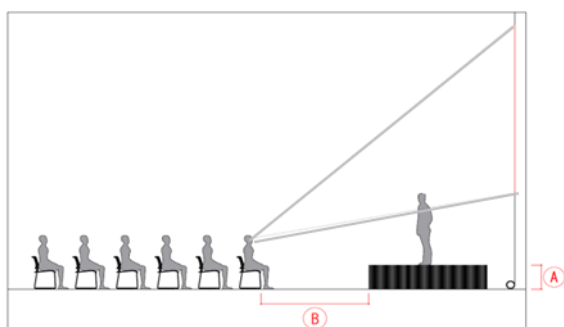


- ・東京都火災予防条例により、縦通路の幅員は 800 mm、座席の前後間（背と脚）は 350 mm以上確保してください。席間（背と背）は 950 mm以上を推奨します。
- ・前後の席間が 950 mmの場合は、連結した椅子を横に 12 席まで並べることができます。ただし、席間を広げることにより、最大 20 席まで並べることが可能です。（表参照）



前後席間（背と背）	可能並列席数
950 mm	～12 席まで
1,000 mm	13～17 席まで
1,050 mm	18～20 席まで

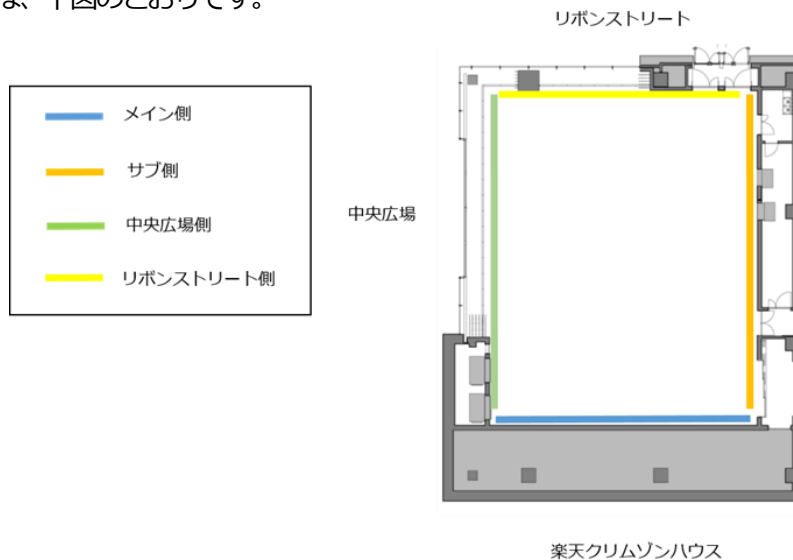
- ・ステージと客席との間は、以下の寸法とすることで、最前列の視認性を確保しやすくなります。



① 【ステージ高さ】	② 【ステージと客席の間】
400 mm	2,000 mm
600 mm	2,000 mm
800 mm	2,500 mm

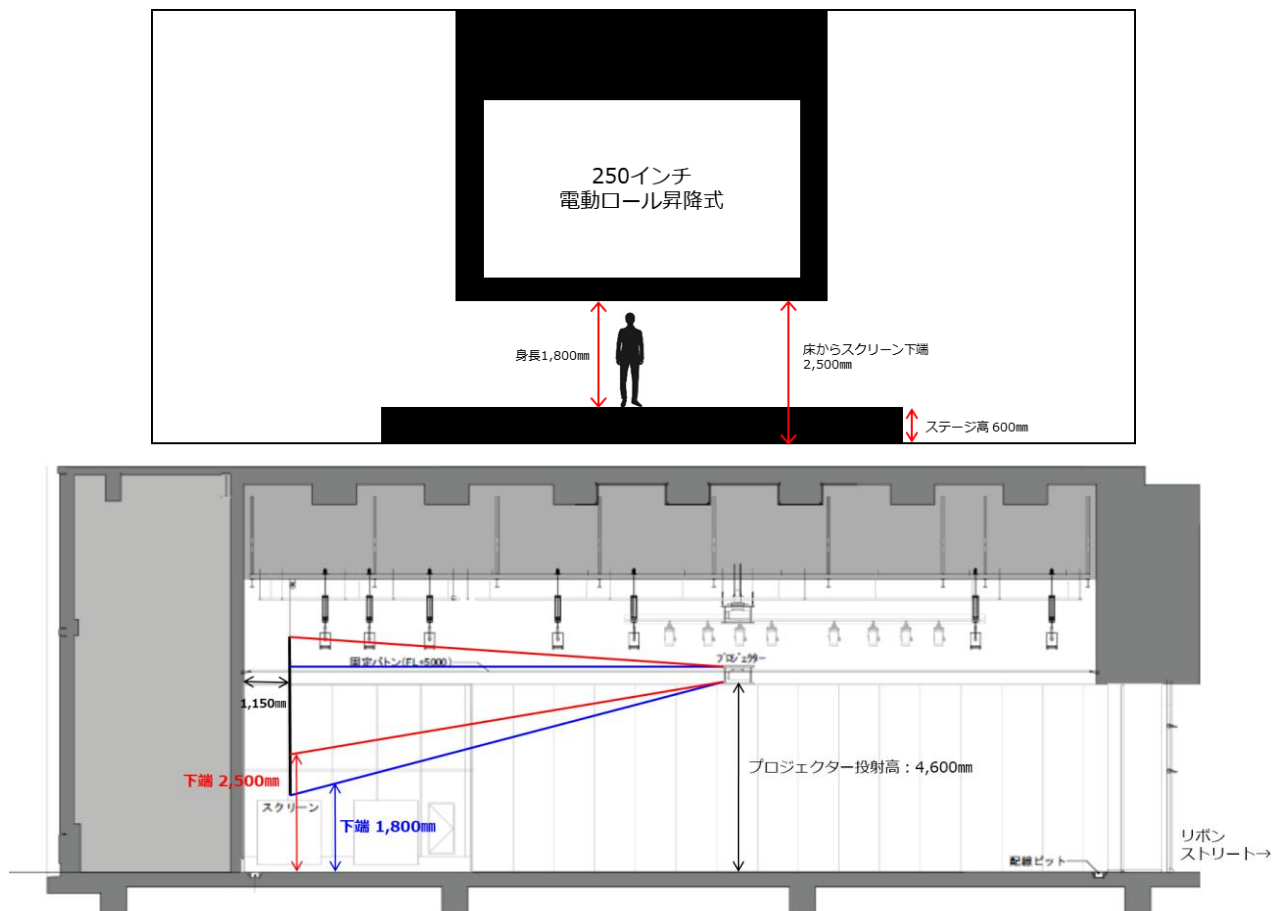
9. 各壁面名称

ホール各壁面の名称は、下図のとおりです。



10. スクリーン位置

【メイン側スクリーンの高さ】



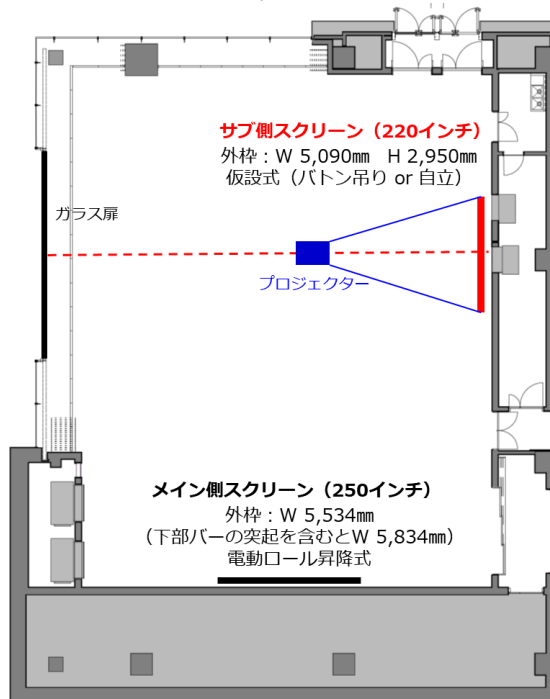
- ・メイン側スクリーンは昇降式です。ステージを使用する場合、ステージ登壇者、照明灯体による見切れや、影の出ない高さに調整する必要があります。
- ・スクリーンの上げ切りは、吊られている照明灯体の影響を避ける場合、下端が床から 2,500 mm高となります。この場合、例えばステージ高 600 mmまでであれば身長 1,800 mmの出演者を避けることができます（上図参照）。さらにスクリーン高を上げる場合は、照明灯体を移動するなどの調整が必要です。
- ・スクリーンを一番下ろした状態の下端は、床から 1,800 mm高です。

【サブ側スクリーンの位置】

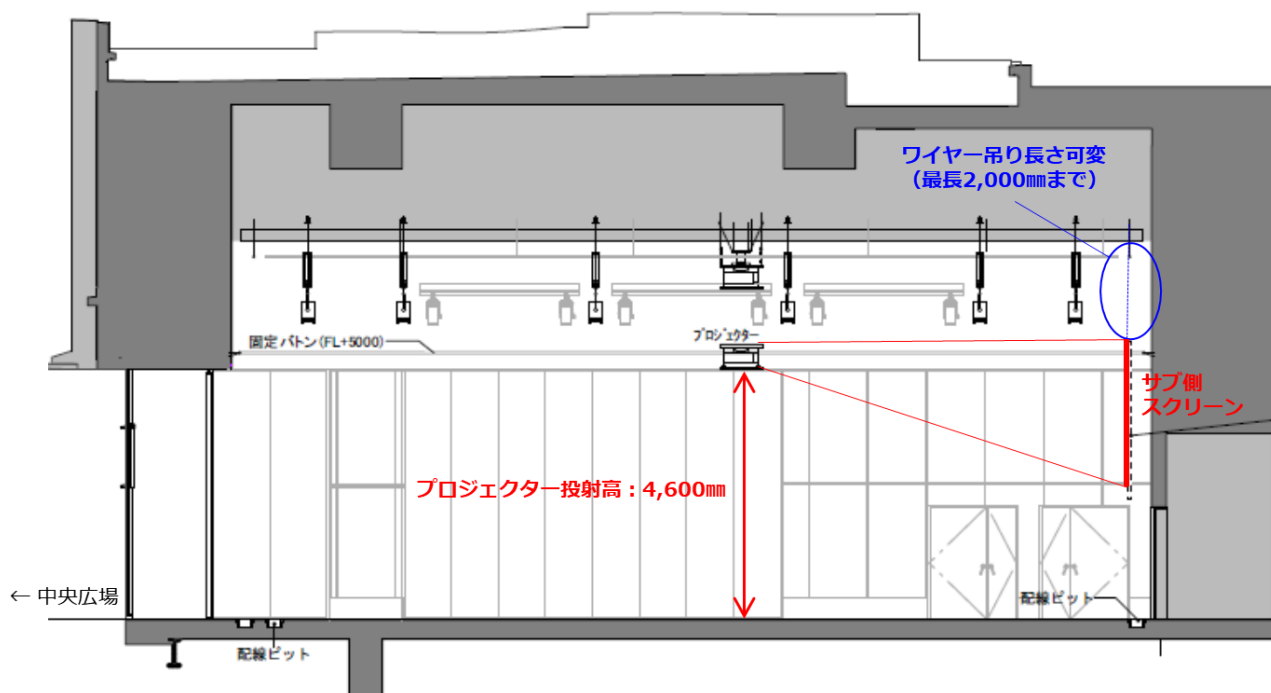
- ・サブ側のプロジェクターは、ガラス扉開口部の中心をセンターラインとして設置されています。サブ側のスクリーンは、プロジェクターに合わせて設置します。(ホール長手、またサブ側壁面の中央ではありません。)

レイアウト作成時は、下記の図を参考に、位置・寸法をプロットしてください。

※ サブ側プロジェクターの水平レンズシフト量などの仕様は、ホールスタッフへお問い合わせください。



- ・サブ側スクリーン (220 インチ) は仮設式で、基本的にウォールバトン4 (P.15 参照) に吊ります。自立も可能です。(床からスクリーン下部までの高さ: 200 mm~1,000 mm 可変)
- ・サブ側に、スクリーンと幕 (黒幕・ジョーゼット幕) を共に吊る場合は、同じバトンを使用します。



11. その他

① 音響・照明・映像の操作卓サイズ

会場内にホール備品の操作卓を設置する場合は、下記のサイズを図面にプロットしてください。

音響卓：W 1,800 mm × D 1,300 mm（座席含む）

照明卓：W 1,800 mm × D 1,500 mm（座席含む）

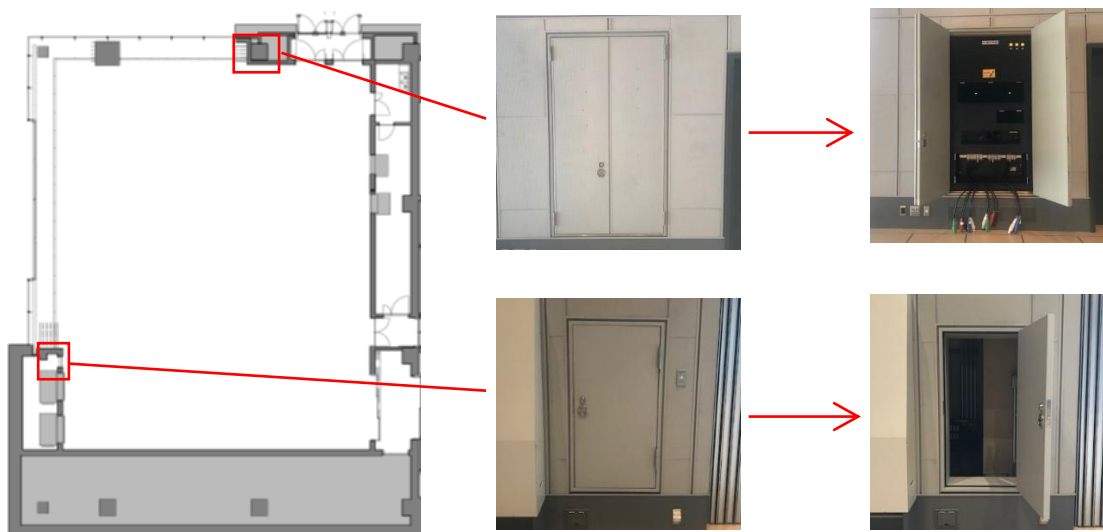
映像卓：W 1,200 mm × D 1,500 mm（座席含む）

※ 操作卓は、通常備品庫内に設置しています。イベント内容により、備品庫内での操作も可能です。

② 貸出分電盤扉の開閉

ホール内の貸出分電盤をご利用の際は、扉を開閉できるよう、扉前に造作物等を設置しないでください。

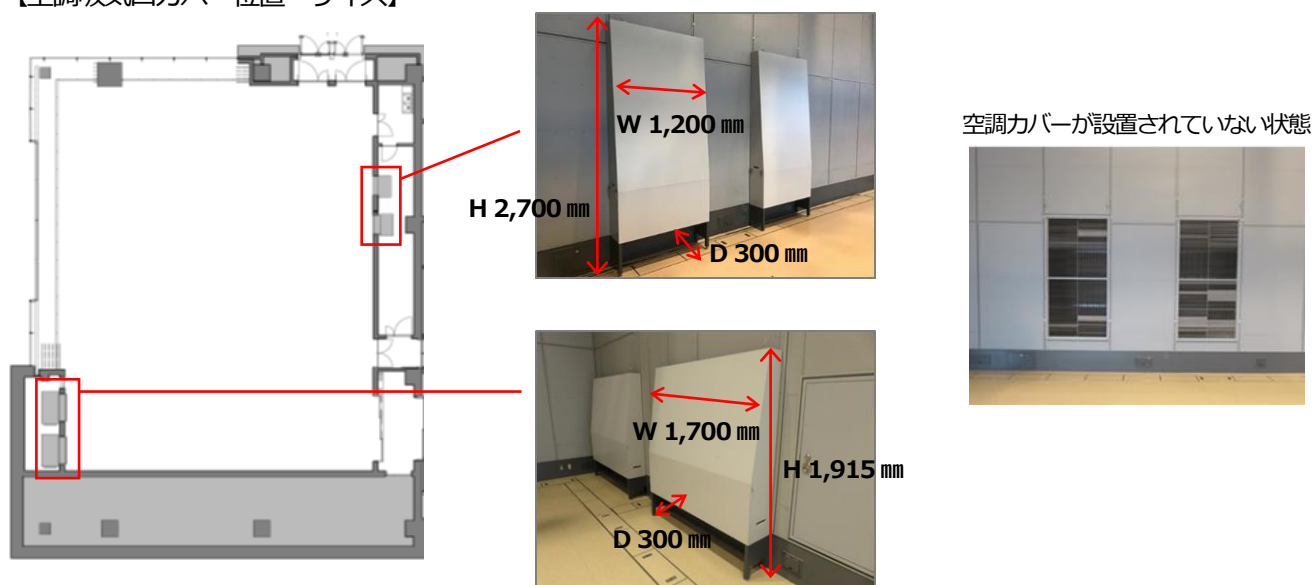
【貸出分電盤位置】



③ 空調吸気口カバー

ホール内4箇所、空調設備の吸気口があります。幕等の吊物を吸気口付近に設置する場合は、空調稼動による吊物の吸い込みを防ぐため、吸気口にカバーを設置します。

【空調吸気口カバー位置・サイズ】



④ ガラス扉付近

ガラス扉を開閉する際に扉と干渉しないよう、施工物等はガラス扉から 600 mm 以上離してください。

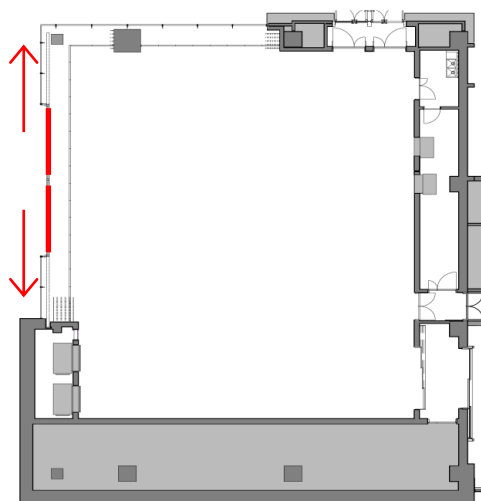


各設備詳細

12. ガラス扉

① 開閉

- ・ガラス扉の中央部分を開けることができます。ただし、隣接している「二子玉川ライズ 中央広場」との調整が必要なため、許可制となります。
- ・開閉は、ホール内外の安全を確認の上、ホールのテクニカルスタッフが行います。
事前に開閉時間をお知らせください。
- ・ホール内のイベント内容や音量が、中央広場、施設テナント等の営業に支障をきたすと判断される場合は、開放状態でご利用いただけないことがございます。あらかじめご了承ください。
- ・中央広場およびリボンストリートで行われるイベントのレイアウト・装飾により、ホール外観の見え方は異なります。



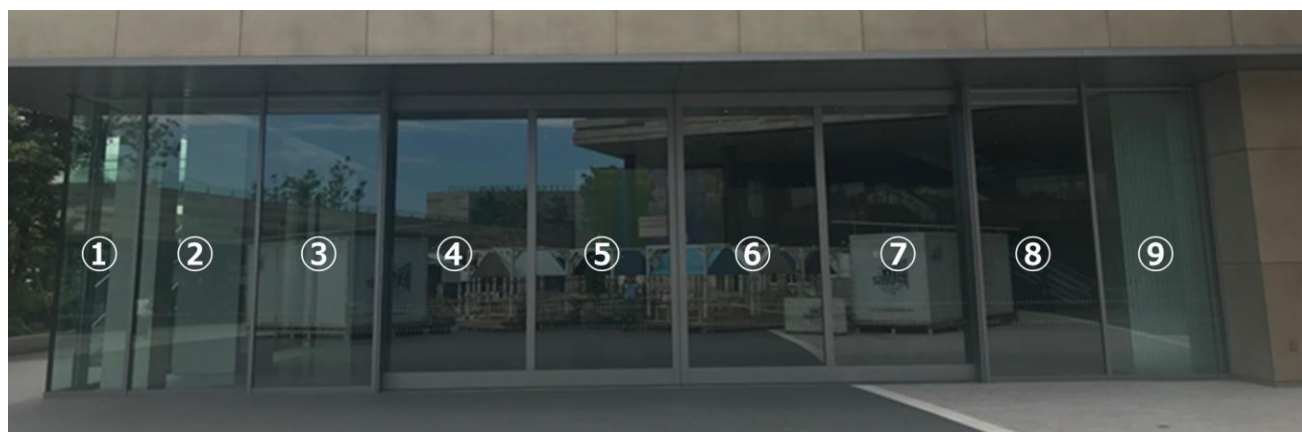
② 装飾

ガラス扉への装飾は、内側（ホール内）から弱粘素材を使用して行ってください。また衝突防止シール（riseロゴシール）には直接粘着物を圧着しないでください。

【衝突防止シールの位置】



【ガラス扉サイズ詳細】



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑩
幅	1,053 mm	1,702 mm	1,728 mm	2,106 mm	2,058 mm	2,058 mm	2,106 mm	1,728 mm	1,736 mm
高さ	4,590 mm	4,594 mm	4,594 mm	4,173 mm	4,173 mm	4,173 mm	4,173 mm	4,595 mm	4,590 mm

※ 窓枠の内寸です。

※ ①は柱とガラス扉の幅が狭い箇所です。

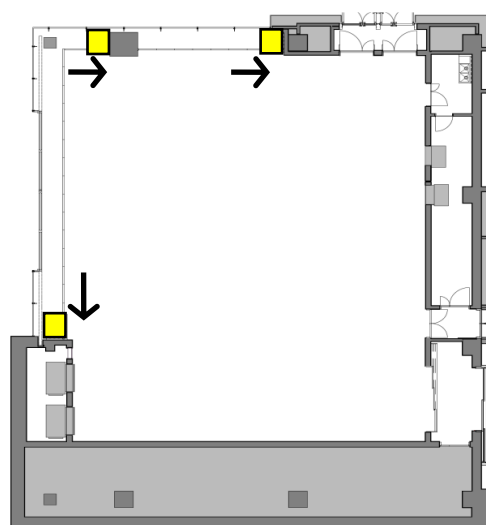
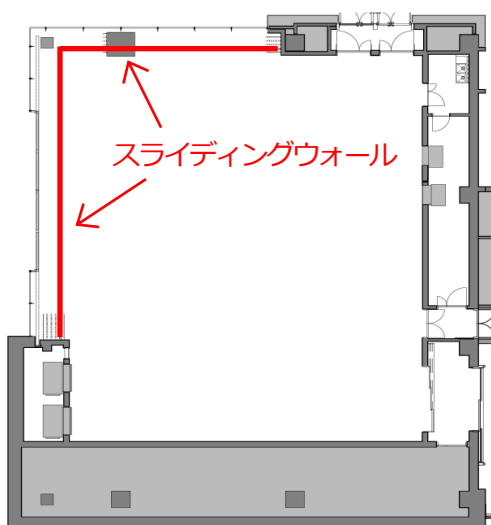
13. スライディングウォール（可動間仕切り）

- ・中央広場側、リボンストリート側は、スライディングウォールの開閉が可能です。全てのスライディングウォールを閉じた場合、防音となります。開閉箇所は自由に設定することができます。
- ・スライディングウォールの開閉は、ホールスタッフが行います。

【閉めた状態】



【開けた状態】



スライディングウォール
収納箇所



14. バトン

- ・ホール内バトンは電動可動式（移動速度：約6m/min）で、装飾物や機材を吊ることができます。
- ・バトンの昇降はホールテクニカルスタッフがを行います。
- ・複数のバトンを連結して使用する場合は、ワイヤーやベルト等の資材はご持参ください。
また事前にホールテクニカルスタッフへご相談ください。

【高さ・直径】

道具バトン 上限：6,700 mm / 下限：1,000 mm

照明バトン 上限：6,040 mm / 下限：1,000 mm

直径：486 mm

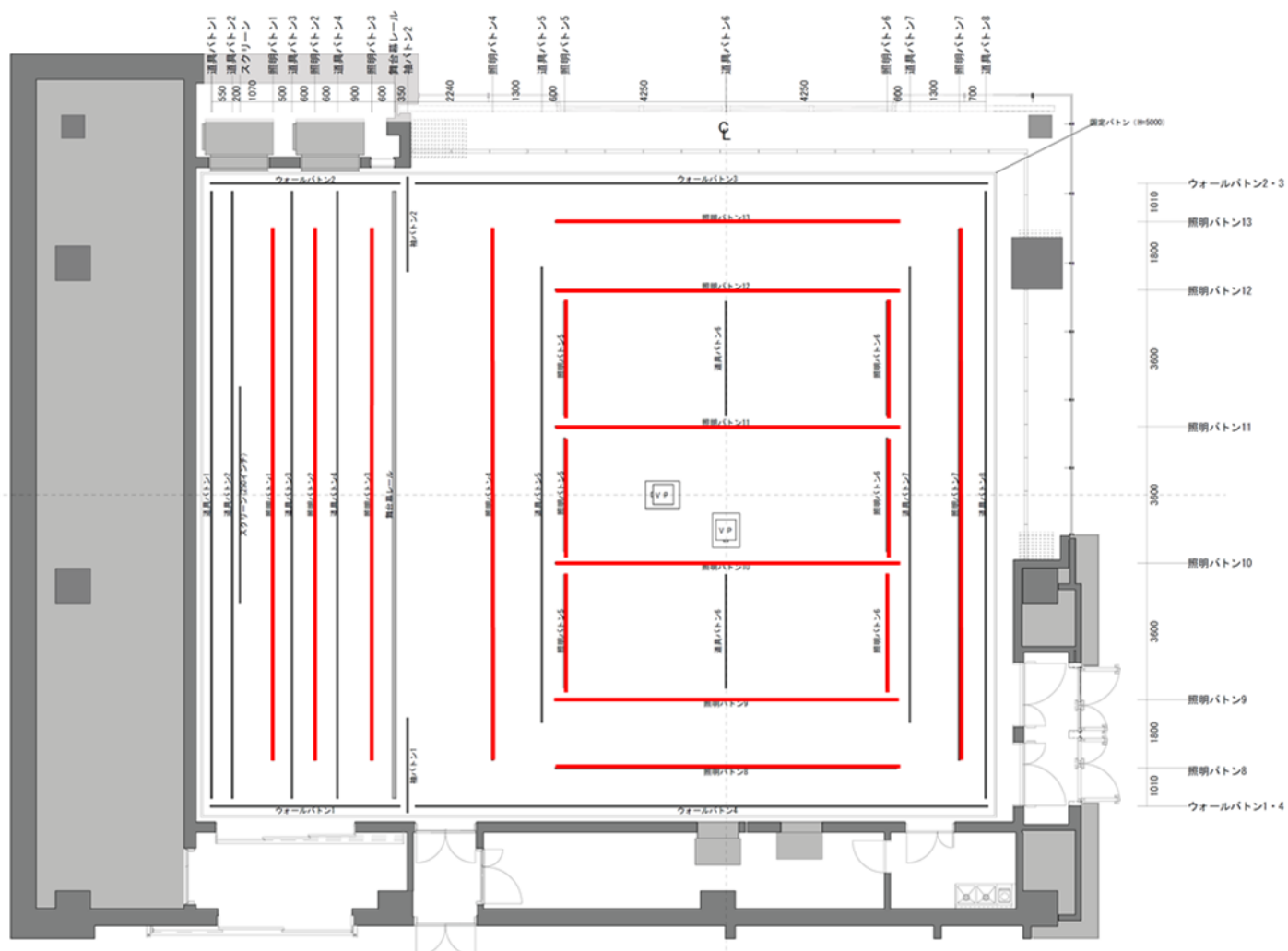
照明バトン (13本)

照明バトン 1、2、3、4、7 長さ：各 14,000 mm / 耐荷重：600 kg/本

照明バトン 5、6 長さ：3,000 mm x 各 3 本 / 耐荷重：150 kg/本

照明バトン 8、13 長さ：各 9,000 mm / 耐荷重：450 kg

照明バトン 9、10、11、12 長さ：各 9,000 mm / 耐荷重：500 kg



道具バトン (8本)

道具バトン 1、2、3、4、8

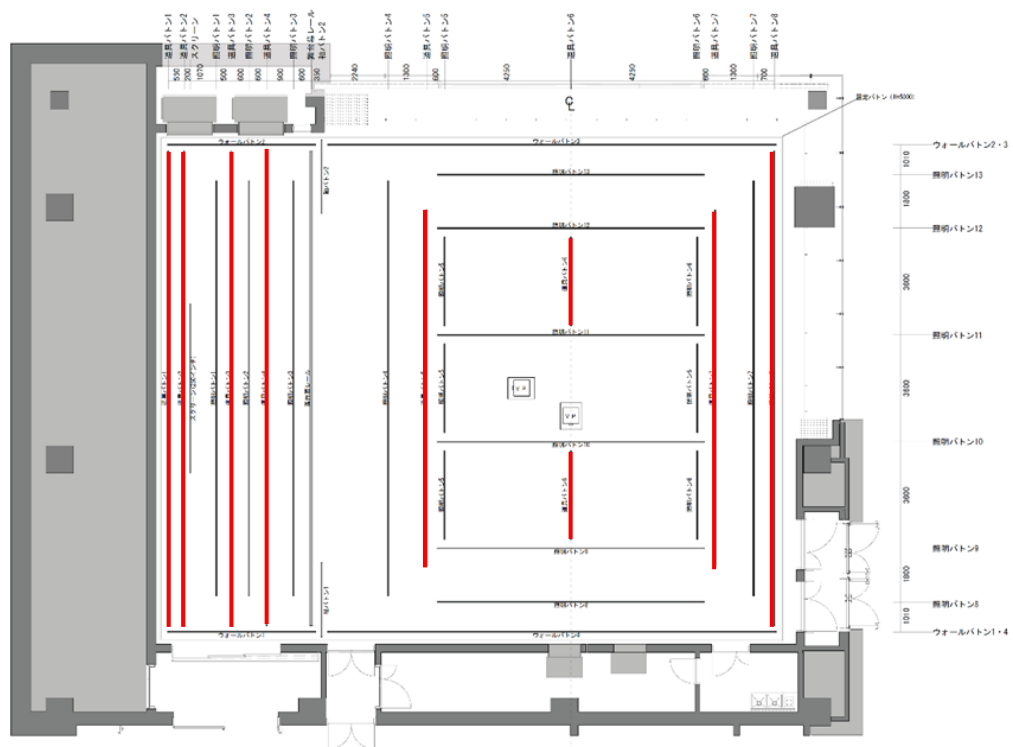
長さ：各 16,000 mm / 耐荷重：300 kg/本

道具バトン 5、7

長さ：各 12,000 mm / 耐荷重：300 kg/本

道具バトン 6

長さ：3,000 mm x 2本 / 耐荷重：200 kg/本



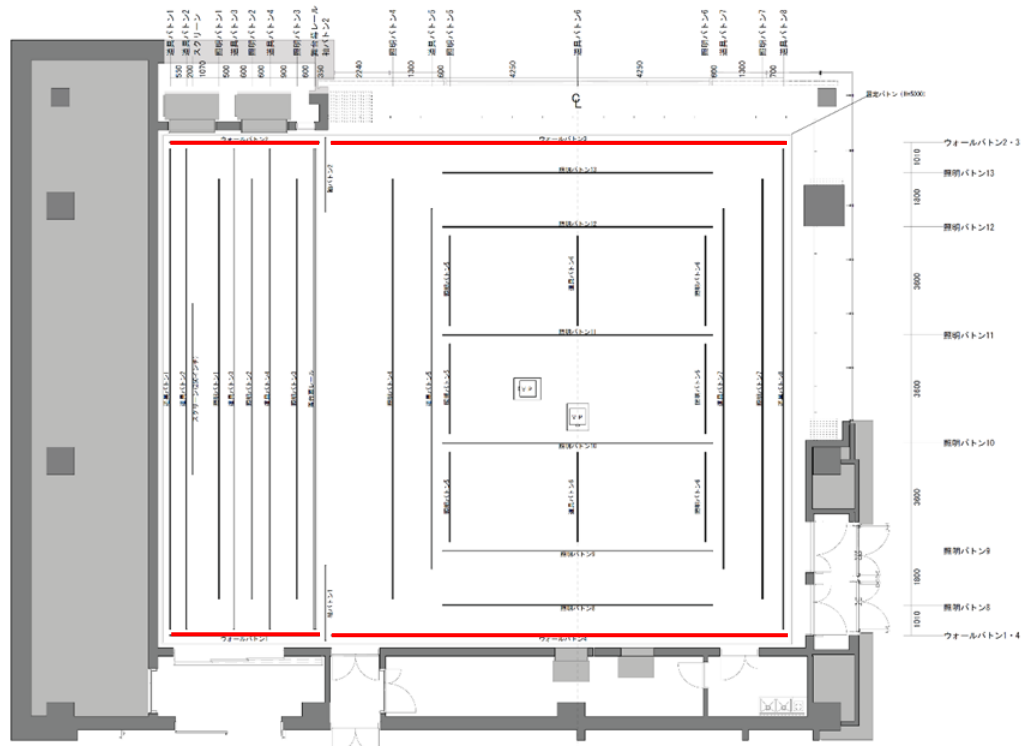
ウォールバトン (4本)

ウォールバトン 1、2

長さ：各 5,000 mm / 耐荷重：200 kg

ウォールバトン 3、4

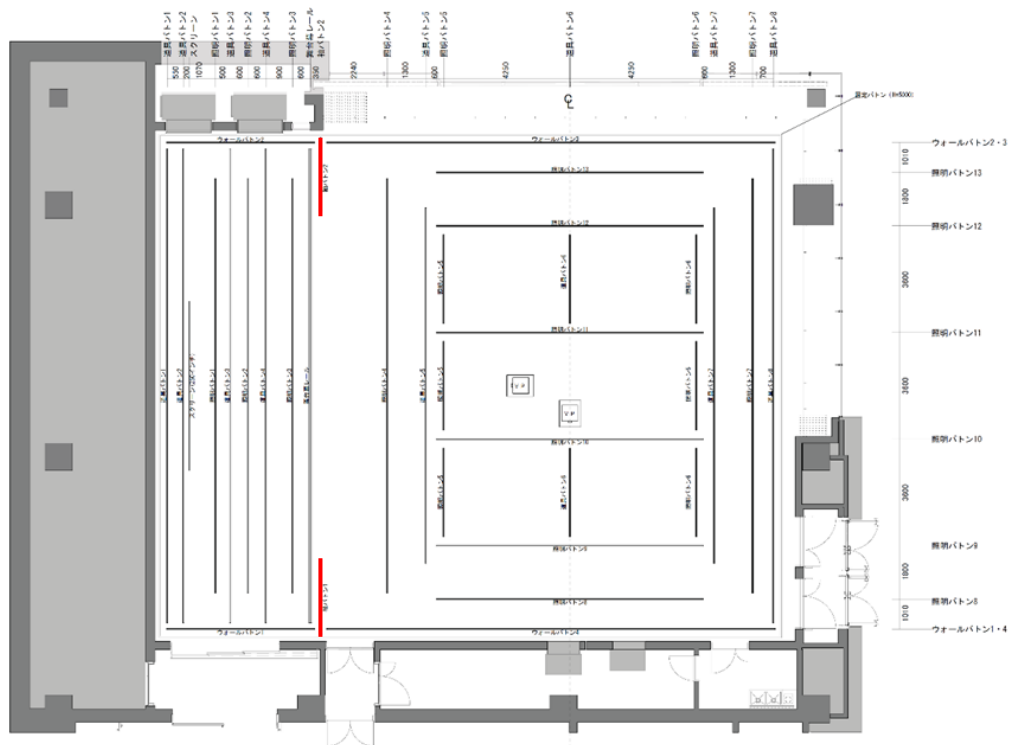
長さ：各 12,000 mm / 耐荷重：300 kg



袖バトン (2本)

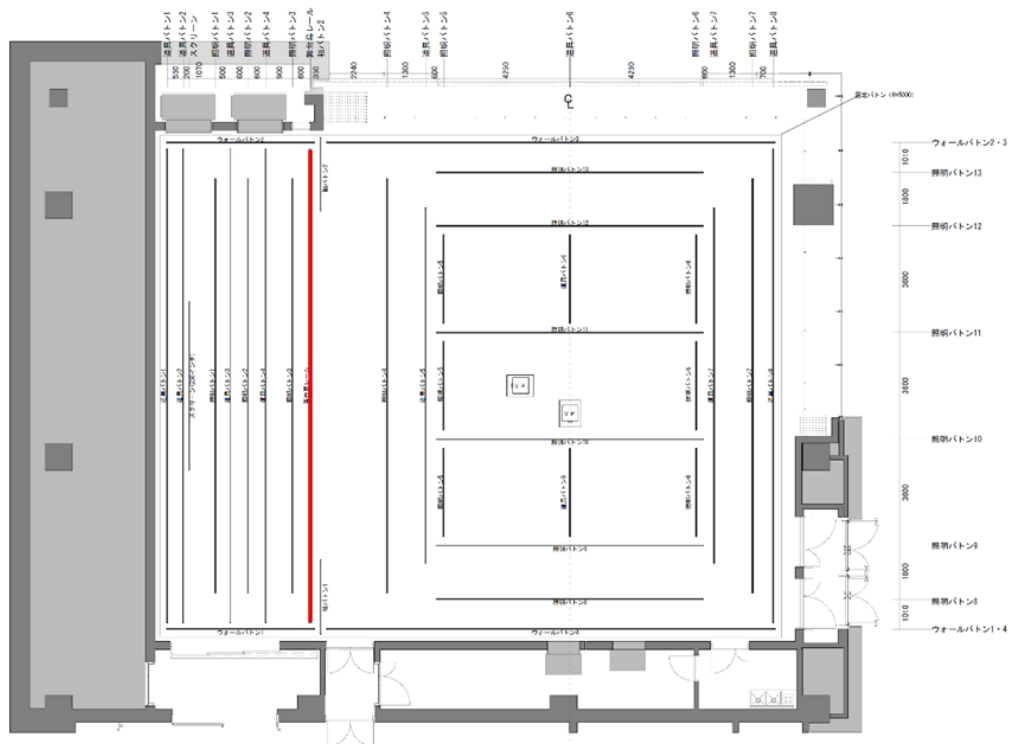
袖バトン 1、2

長さ : 各 2,150 mm / 耐荷重 : 100 kg/本



舞台レール (1本)

長さ : 9,000 mm / レール速度 : 約 20m/min

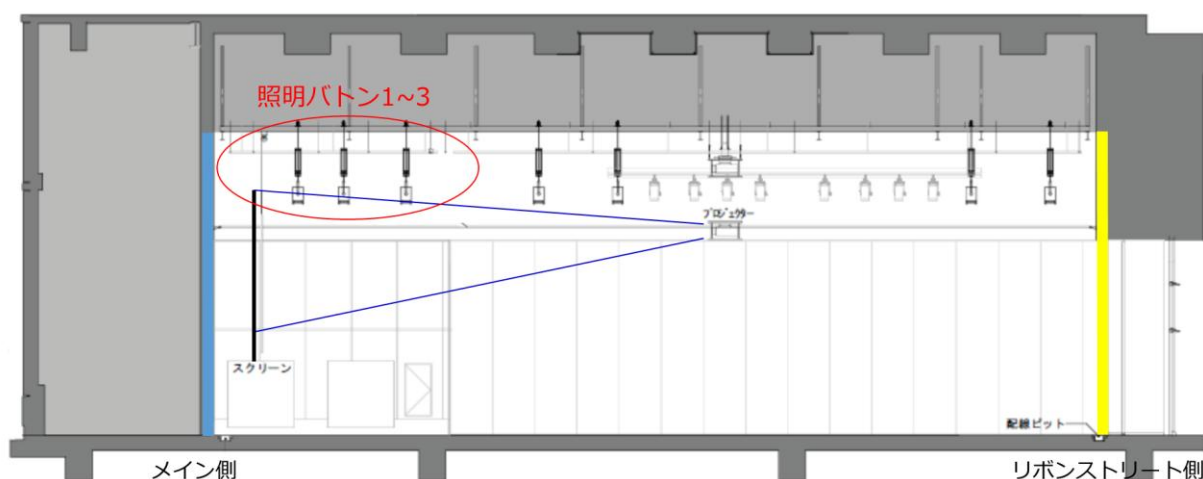
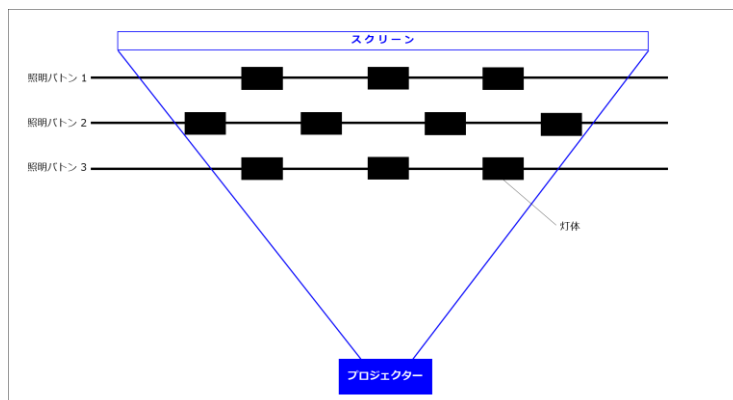


【照明灯体仕込み時の注意】

- ・ 装飾物の近くに灯体を設置する場合は、配置に十分注意し、火災予防に努めてください。
- ・ 灯体の落下防止用ワイヤーを、必ず確認してください。
- ・ ホール内に吊ってある照明器具を移動した場合は、返却時に必ず元の状態に戻してください。
- ・ 照明ボタン 1～3 に灯体を設置する場合、灯体の種類・位置により、メイン側スクリーンに灯体の影が映ることがございます。

スクリーン、およびステージの高さを検討の際に検証の上、調整してください。(P.8 参照)

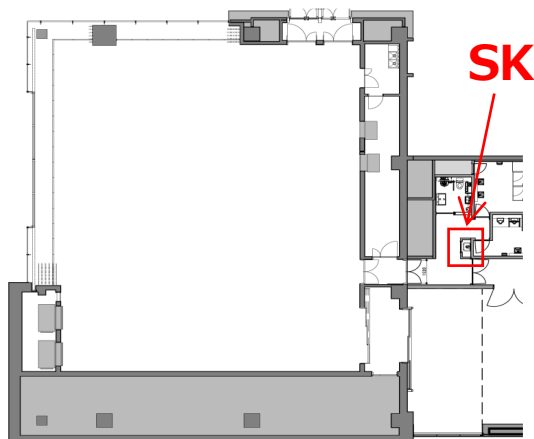
落下防止用ワイヤー



15. 清掃用流し (SK)

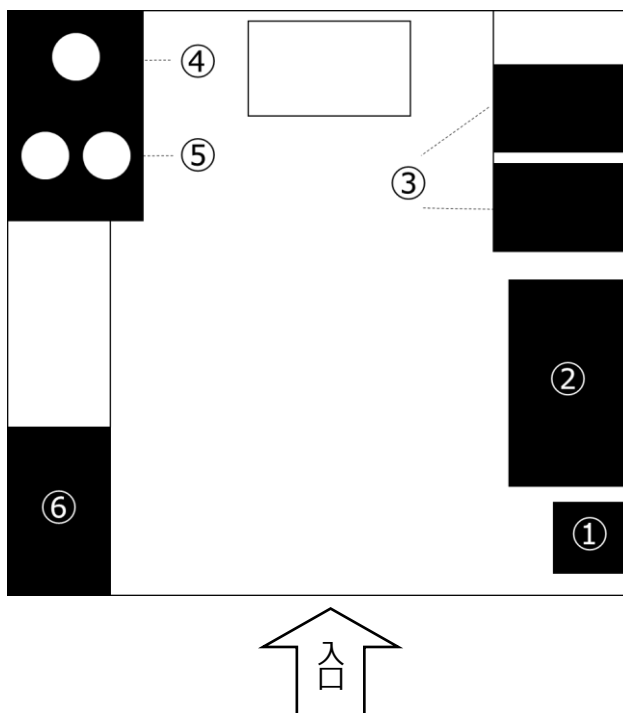
飲食以外の給排水には、お客様用トイレ横の清掃用流し (SK) をご利用ください。

経路排水・清掃排水・ウェイト水タンクなどは、パントリー、壁面シンクでの給排水はできません。



16. パントリー、壁面シンク

【パントリー】



- ① 手洗い器
- ② 冷蔵庫
メーカー：FUJIMAC
型番：FR1265 冷蔵のみ 812ℓ
- ③ シンク 2 台
- ④ IH コンロ
メーカー：FUJIMAC
1 口コンロ 電源 1P 200V
消費電力 2 kW
使用推奨鍋底直径 12～25 cm
- ⑤ IH コンロ (2 口)
メーカー：HOSHIZAKI
型番：HIH-11RE
2 口コンロ 電源 1P 200V
消費電力 1.5 kW x 2 口
使用推奨鍋底直径 12～20 cm
- ⑥ 製氷機 (保冷用) ※飲食は不可
メーカー：Panasonic
型番：SIM-S6500UA
氷サイズ 28 mm x 28 mm x 32 mm
製氷能力：約 70 kg / 日 (周囲温度 20℃・水温 15℃の場合)

【壁面シンク】

丸型コンセントの電源（200V・4 kW）があります。使用する場合は、機器の対応電圧、電気使用量、およびプラグ形状を事前にご確認ください。丸型以外のプラグには、変換アダプターが必要です



電源



17. ホール内での調理時における仮設工事

① 給排水工事

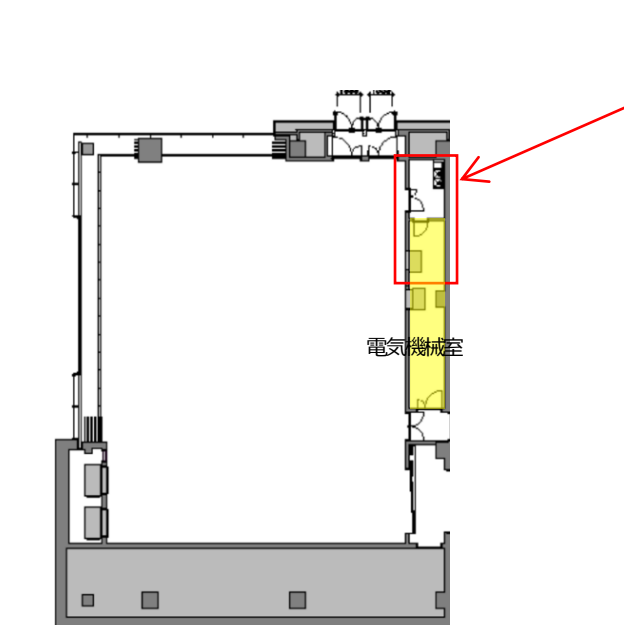
ホール内での調理行為には、保健所指導により、会場内へ仮設シンク設置が必要となる場合があります。

その際は、壁面シンク付近より給排水が可能です。事前に必ず、工事業者と現地調査を行ってください。

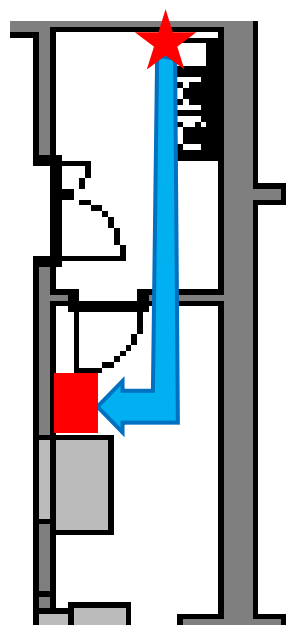
【給水元栓】



【工事例】

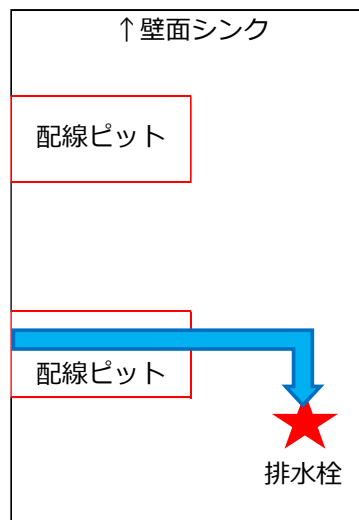
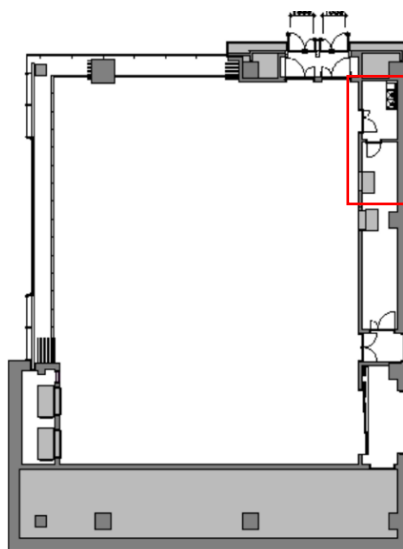


【排水栓】



電気機械室（壁面シンク横）より
ホール内配線ピットへホース配管
が可能。

【工事例】



電気機械室（壁面シンク横）より
ホール内配線ピットへホース配管が可能。
排水栓は床高 62 mm のため、
排水ポンプで汲み上げる必要があります。

② ウエスタンドア

ホール内での調理行為には、保健所指導により、調理区画にウエスタンドアの設置が必要となる場合があります。ホール備品の使用をご希望の際には、ホールスタッフへご相談ください。

【貸出用ウエスタンドア】

表



裏



L 金具と止め部材はご用意ください。

18. インターネット回線

ホール内、控室、楽屋では、イツツコムインターネット回線（Wi-Fi、有線LAN）をご利用いただけます。

① Wi-Fi

ネットワーク名（SSID）：rise_studio_hall

ネットワークキー：UPz4uzu4

アクセスポイント：4台（スタジオ内3台、楽屋付近1台）

同時接続数：200 端末

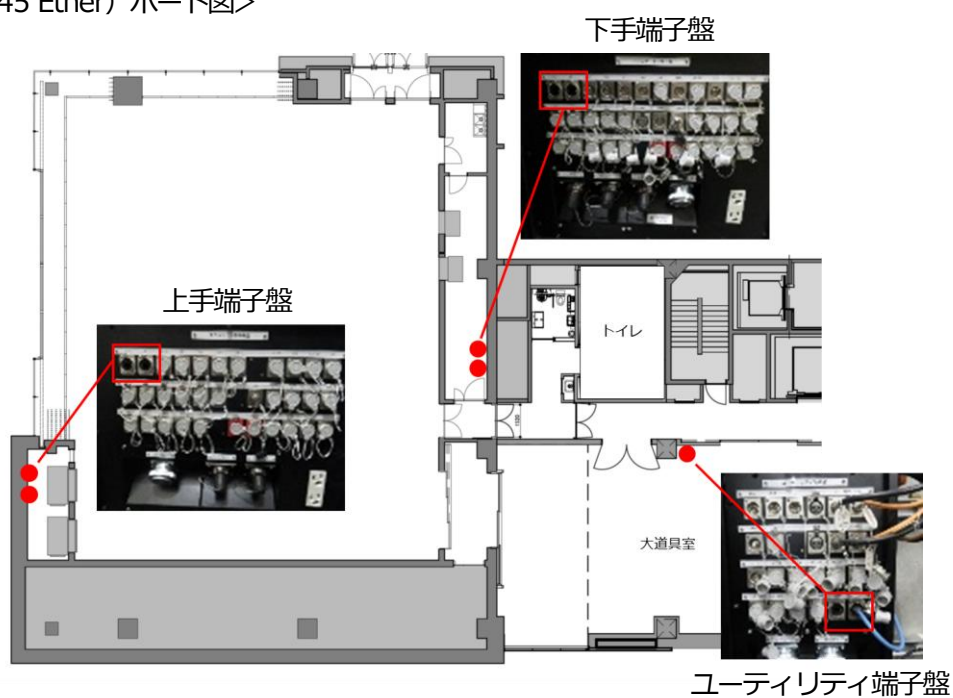
回線速度：1Gbps 帯域保証（準拠規格：IEEE 802.11a/b/g/n/ac）

② 有線LAN

LAN ポート口：6 口

回線速度：1Gbps 帯域保証（状況により数値は変動いたします）

<LAN（RJ45 Ether）ポート図>



その他

20. ワイヤレスマイク持ち込み時の注意

ホールおよび二子玉川ライズ 中央広場でのワイヤレスマイクのB帯使用可能帯域は下表のとおりです。

B帯のワイヤレスマイクを5本以上使用する場合は、周波数の調整が必要なため、事前にお知らせください。

二子玉川ライズ スタジオ & ホール	
所有マイク本数：5本（B帯 5波） メーカー：SENNHEISER 型番：SKM300-835 G3	
ch1	806.500
ch2	807.750
ch3	808.375
ch4	808.875
ch5	809.250

二子玉川ライズ 中央広場	
所有マイク本数：4本（B帯 4波） メーカー：SHURE 型番：ULXD4Q-AB	
ch1	806.125
ch2	806.875
ch3	807.250
ch4	808.125